

第4次

妙高市観光振興計画（案）

令和7（2025）年度から令和11（2029）年度

概要版

第1章 第4次妙高市観光振興計画の基本事項

1. 計画策定の趣旨

本市は、豊富な積雪量「ディープスノー」や雪質の良さ「パウダースノー」が評判となり、近年では外国人観光客からも人気が高く「スキースの聖地 妙高」として、世界的にも注目を集めています。この強みをさらに活かし、冬だけでなく春から秋にかけての誘客を強化することにより、四季を通じた観光を促進することで、訪れる人が「自然と自然になれる妙高」を感じてもらえるよう『妙高ブランド』の構築に努めてまいります。

本計画は、単なる計画の作成にとどまらず、関係機関との連携強化を図り、地域内での継続的な議論を通じて進化させていくものです。地域の目指すべき姿や方向性を明確にし、変化する社会環境に迅速に対応しながら、その時々に通じた観光への取組を進めることで、「地域全体の持続可能な発展と豊かな暮らしの実現」を目指していきます。

第2章 妙高市の観光をめぐる状況

1. 国・県の観光の動向・方針

■観光立国の実現に関する基本方針

- ▶ 持続可能な観光地づくり戦略
- ▶ インバウンドの回復戦略
- ▶ 国内交流の拡大戦略

■新潟県における観光の方針

「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現（ビジョン）に向けた5つの重点方針（本県観光の幹となるブランドの構築・浸透等）等を掲げている。

2. 妙高市が誇れる地域資源

- (1) 妙高山麓に広がる雄大な自然環境
- (2) 妙高高原温泉郷（七五三（なごみ）の湯）
- (3) 妙高山麓に広がる9つのスキー場「MYOKO スノーリゾート」
- (4) 妙高山麓の安全・安心な地場の食材と郷土食
- (5) 妙高山麓の歴史文化資源
- (6) 伝統的な祭り・スポーツや地域の特性を活かしたイベント

3. 第3次妙高市観光振興計画（前計画）の評価

前計画の評価として、目標値の達成状況をもとに、達成できた点や課題として残った点を整理し、これまでの取り組みの成果を総括しました。

4. 妙高市における観光統計等の状況

本市の観光の現状や実態を把握するために、観光統計等を基に、本市の観光入込客数や延べ宿泊客数、観光消費額などの分析を行っています。

5. 妙高市の観光の課題

強み	弱み
豊かな自然環境が存在する ・手つかずの自然妙高山・温泉・四季 新潟県内唯一のクアオルト認定コースがある アクティビティ関連のスクールが豊富 雪の量と質がよい/スノーリゾート地として多くの人が訪れる ・パウダースノー 競技会が開催できる環境 訪日外国人観光客が冬季に多く訪れる 温泉地としての魅力がある ・3つの泉質、7つの温泉地が楽しめる 地元の食（食材・食文化） ・野菜、山菜、米、発酵食品など 歴史・文化 山岳信仰（妙高山）、仏教 首都圏や長野方面からのアクセスが良い/山と海が近い スポーツ合宿の地として受け入れ環境が充実している ワーケーション施設 ・MYOKO BASE CAMP、妙高高原ビジターセンター	冬の繁忙期に対し、閑散期に十分な誘客が来ていない 特にインバウンドの大多数はスキー目的に訪訪 観光客が地域内で消費する機会・場所が少ない 点在する観光拠点を移動する手段が乏しい （※上記の結果）滞在時間が短くなる アクティビティが少ない 首都圏から妙高までの間にライバルとなる観光拠点多くある オーストラリアからの来訪者が半数を占めており、来訪国にばらつきがある 芸術、音楽などの文化的側面が弱い 魅力ある施設の整備や高収益化を目指す取り組みが途上である（施設の老朽化対策やIT導入のばらつきなどがある）
機会	脅威
国内外から誘客が可能な大規模リゾート開発が計画されている 世界遺産「佐渡島の金山」認定で県内に来訪者が増える ウェルネス・サスティナブルツーリズムの市場が拡大している テレワーク・ワーケーション等新たな働き方・旅行スタイルの広がり	少子高齢化による観光分野での人材不足が起ころう 温暖化・気候変動によって、雪が活用できなくなる懸念がある 日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の活用

■本市における5つの課題

今後の観光振興にあたり、現状分析から導き出される課題は以下の通りです。

- ① 年間を通じて資源を活かした観光誘客の戦略化
- ② 地域一体となった観光情報の発信
- ③ 観光客を受け入れる体制と環境の整備
- ④ 観光人材の育成・確保
- ⑤ 産業活性化による国際競争力の強化

第3章 計画の目標値と施策体系

1. 将来ビジョン

前述の妙高市の観光の課題等を踏まえ、持続可能な観光都市を目指して将来ビジョンを以下のように定めます。

誰もが年中、MYOKO をまるごと楽しめる持続可能なマウンテンリゾート

2. 誘客ターゲット・方針

以下のターゲットを見据え、新規顧客への来訪喚起を促進するとともに、リピーターの獲得・拡大を図ります。

地域資源に興味・関心の高い国内外の顧客層 + 首都圏 + 伸びしろのある国籍等の外国人観光客

3. 目標値

指標名	観光入込客数	観光売上額	来訪者満足度	リピート率	外国人観光宿泊者数
現況値（令和5年）	511万人	173億円	—	—	12万人
目標値（令和11年）	610万人	206億円	85%	65%	18万人

第4章 計画の具体的な施策の展開

「地域が一体となった持続可能な観光地域づくりの実践」と「世界に誇れる国際的なマウンテンリゾートとしての受入環境の整備」を本計画の基本方針に掲げ、効果的に地域づくり（整備）や誘客を推進するため

7つの主要施策を定めます。主要施策の実現に向けた「具体的な施策」について、「取組概要・取組例」と想定される「主な実施主体」によって施策の展開を図ります。

◎基本方針1 地域が一体となった持続可能な観光地域づくりの実践

「持続可能な観光地域づくり」に向けて、本市の観光資源を支える事業者や市民・活動団体等の多様な関係者と連携・協力を図ることで、地域が一体となった取組の実践を図ります。

主要施策	具体的な施策	
1 上質で高付加価値なツーリズムの創出 整備	① 高付加価値の体験型コンテンツの発掘・磨き上げ	整備
	② 特色ある温泉を活かした魅力づくり	整備
	③ スポーツツーリズム・アドベンチャーツーリズムなどの推進	整備
	④ 健康促進・ウェルネスツーリズムの推進	整備
	⑤ 歴史文化のストーリーを活かしたコンテンツの開発	整備
	⑥ 地域性や風土を活かした食文化の開発及び磨き上げ	整備
2 国内外の観光誘客を増加させるための戦略化 整備 誘客	① 国内外のターゲットの明確化と誘客のためのデジタルマーケティング手法の確立	整備
	② 地域が一体となるSNS等を活用した観光情報発信の取組	誘客
	③ 戦略的・継続性のある海外向けプロモーションの展開	誘客
	④ 外国人観光客の国籍や属性に応じた戦略的な情報発信	誘客
3 観光事業の将来を担う人材の育成・確保に向けた取組の実践 整備 誘客	① 来訪者の満足度向上を目指す観光受入体制の充実	整備
	② 地域への愛着・誇り・おもてなし意識の醸成に向けた取組	整備
	③ 地域の就業情報や観光関連施設・企業の魅力発信	誘客
	④ 地域への定住支援や就業サポート	整備
4 観光事業者の改革や進化を促すための事業者間連携や協働促進・観光DXの推進 整備 誘客	① 妙高ツーリズムマネジメントの体制強化	整備 誘客
	② 観光事業者のDX推進による業務効率化支援	整備
	③ 新たな観光関連事業への創業・起業支援	整備
	④ 既存事業者間のビジネスマッチングによる新たな市場の開拓支援	整備 誘客

◎基本方針2 世界に誇れる国際的なマウンテンリゾートとしての受入環境の整備

「国際的なマウンテンリゾート」として国内外から選ばれる観光地となるために、日常的に魅力を味わえる環境の整備や持続的な地域マネジメントを推進し、世界に誇れる観光地としての地位確立を目指します。

主要施策	具体的な施策	
1 リピーターを増やす取組の推進 整備 誘客	① 教育旅行・スポーツ合宿等の受入促進	整備 誘客
	② 「道の駅あらい」の機能強化と魅力向上	整備 誘客
	③ 「妙高ファン」づくりを狙ったイベント・情報発信	誘客
	④ 国内外観光客の消費活動促進に向けた環境整備	整備
2 快適に観光・周遊してもらうための環境の整備と充実 整備 誘客	① 観光施設等の各種受入環境の充実	整備
	② 市内の回遊性を向上する二次交通の整備	整備 誘客
	③ 広域連携による周遊観光の促進	整備 誘客
	④ まちなみ景観の改善や環境に配慮したインフラ設備の整備	整備
3 持続可能な地域マネジメント等の実践 整備	① 災害等緊急時の適切な危機管理体制の整備	整備
	② 安全・安心に係る情報提供や観光施設等における安全対策の強化・充実	整備
	③ 未来に受け継ぐ地域の環境の保全	整備
	④ 持続可能な観光ガイドライン	整備

第5章 計画の推進体制

本計画を推進するために各主体の役割を明確にしつつ、共通の目標に向かって協働による推進体制を強化し、観光振興の推進を図ります。また、観光振興に係る財源の確保については、市内観光関連事業者や市民・活動団体等の関係者の意向を確認しながら、観光振興に係る財源の必要性やあり方を検討していきます。

【観光推進体制】

実施主体	主な役割
妙高市	観光振興計画の策定及び進行管理、事業効果検証／各種観光情報の発信／観光大使、観光PRキャラクター等による情報発信／観光振興を図るための施設環境整備／関係行政機関等との連携・連絡調整／観光地域づくり法人や事業者等への支援／市民・活動団体等への普及啓発
妙高ツーリズムマネジメント（観光地域づくり法人）	マーケティング等による戦略的な観光地づくりの実践／インバウンド誘客の拡大に向けた企画及び事業の実施／観光情報の発信や観光案内／観光イベントの実施／観光客と観光等事業者間のコーディネート
・事業者（観光、宿泊、交通、旅行、策道、商工、飲食店、農業者等） ・妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会	観光客の満足度を高めるおもてなしサービスの向上や体制の整備／受入体制の充実／地域資源の活用・再発掘、情報発信の強化／安心・安全な地場食材の生産及び提供
市民・活動団体	観光客を迎え入れる、おもてなし意識の向上／市民や活動団体による観光客向けのガイド充実／地域の魅力の再認識と地域資源の再発掘及び活用